

報道機関各位

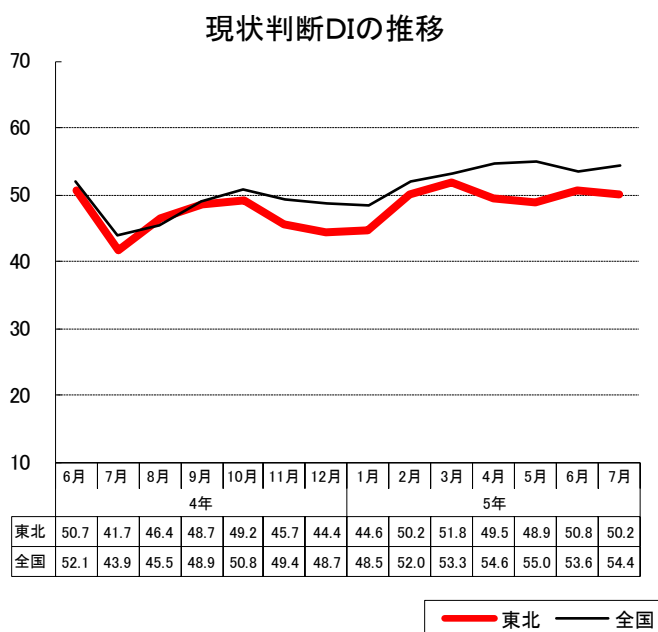
公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和5年7月 東北分
 (東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和5年7月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

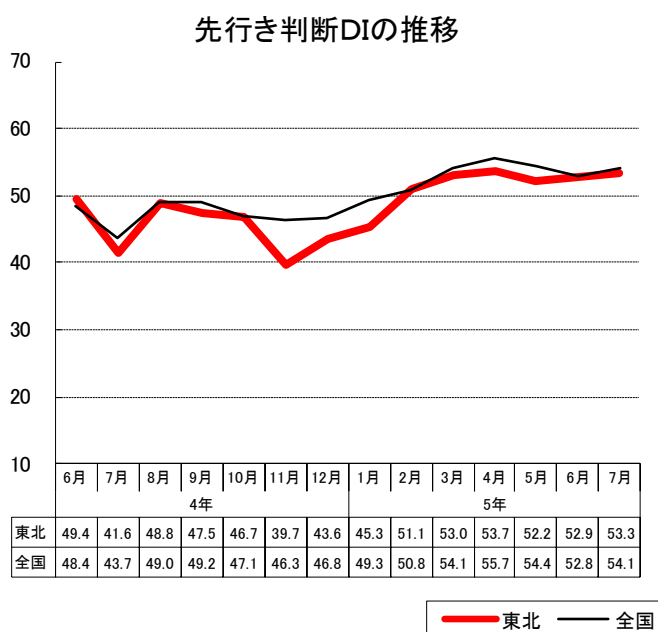
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「50.2」と2か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲0.6ポイント低下した。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

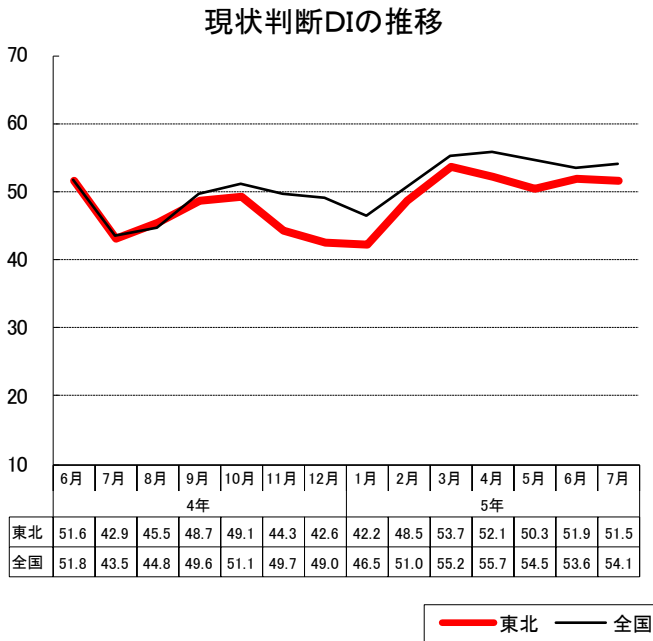
先行き判断DIは「53.3」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+0.4ポイント上昇した。



2. 原数値

(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「51.5」と2か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲0.4ポイント低下した。



○家計動向関連…美容室、一般レストラン等の業種でDIが前月を下回ったが、スーパー、乗用車・自動車備品販売店、コンビニ等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「52.5」(+1.8)と、2か月連続で前月を上回った。

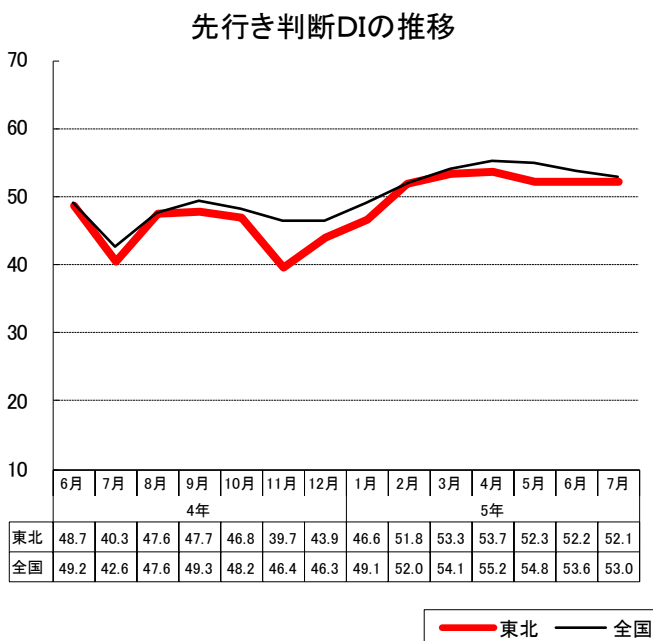
○企業動向関連…電気機械器具製造業、輸送業の業種でDIが前月を上回ったが、農林水産業、金融業、食料品製造業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「48.6」(▲4.1)と、2か月ぶりで前月を下回った。

○雇用関連…DIは「51.3」(▲6.6)と、2か月連続で前月を下回った。

(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断DIは「52.1」と3か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲0.1ポイント低下した。



○家計動向関連…百貨店、コンビニ、スーパー等の業種でDIが前月を上回ったが、一般小売店、乗用車・自動車備品販売店、競艇場等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「50.9」(▲0.6)と、2か月ぶりで前月を下回った。

○企業動向関連…農林水産業、一般機械器具製造業の業種でDIが前月を下回ったが、建設業、金融業、食料品製造業等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「56.1」(+3.4)と、前月を上回った。

○雇用関連…DIは「51.3」(▲4.0)と、2か月連続で前月を下回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	4年							5年						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北現状	51.6	42.9	45.5	48.7	49.1	44.3	42.6	42.2	48.5	53.7	52.1	50.3	51.9	51.5
家計動向関連	51.1	41.3	42.8	47.4	47.6	42.7	42.5	39.9	47.5	53.3	51.8	48.4	50.7	52.5
企業動向関連	50.0	46.5	49.3	52.1	49.3	45.9	41.2	47.3	50.0	55.6	51.4	50.0	52.7	48.6
雇用関連(参考)	57.9	46.1	55.3	50.0	57.9	51.3	46.1	46.1	51.3	52.6	55.3	61.8	57.9	51.3

（2）先行き判断D I

	4年							5年						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北先行き	48.7	40.3	47.6	47.7	46.8	39.7	43.9	46.6	51.8	53.3	53.7	52.3	52.2	52.1
家計動向関連	48.3	38.3	44.3	46.3	45.7	37.9	41.8	45.2	51.3	51.8	52.9	50.9	51.5	50.9
企業動向関連	47.1	45.8	56.1	52.1	48.6	43.9	48.0	52.0	48.6	56.9	54.2	52.7	52.7	56.1
雇用関連(参考)	53.9	42.1	51.3	47.4	50.0	42.1	48.7	44.7	60.5	55.3	57.9	59.2	55.3	51.3

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和5年7月25日～31日

回答者数 168/189 名、回答率 88.9%（全国 1,836/2,050 名、89.6%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「良くなっている」

（乗用車販売店）…大雨の影響で水没した車が多いため、代替購入が多く発生している。

（その他サービス[自動車整備業]）…コロナ禍からは脱出したとみている。原材料価格や人件費の高騰も、価格転嫁で対応できている。物価が上がると売上も上がるサイクルがみられ好況感がある。購買意欲の表れか、販売価格の単価も上昇している。

○「やや良くなっている」

（商店街）…4年ぶりに夏のイベントが通常開催され、人流が新型コロナウイルス感染症発生前に戻りつつある。

（一般小売店[医薬品]）…7月に入ってから値上がりは続いている。高級品の値上がり前に買いだめをする客が増えており、客単価が上がっている。

（スーパー）…値上げによる単価の上昇で買上点数は減少しているものの、夏祭りや気温上昇により飲料、アイスなどの購買が増加している。

（衣料品専門店）…各種行事や大会が開催され人出も増加しており、店舗がにぎやかになっている。法人関係のお中元も例年より増加している。

（通信会社）…3か月前と比べ、放送サービスの解約者数が半減している。新規加入者数は変わっていない。少しずつ生活に余裕が出て、娯楽に金を使えるようになってきたことの表れとみている。通信サービスも、解約者数は減少し新規加入者数は順調に増加している。

（食料品製造業）…駅や空港、サービスエリア等での土産需要は引き続き好調に推移している。しかし、お中元商戦は前年比 95～97%の動きである。物価高の影響もあり送り先を絞る傾向がある。トータルで前年はクリアしている。

（人材派遣会社）…求人を掛けても応募がなく、転職による人材流出も起きている。企業からすると、人が採れないどころか、他の求人によって人材が流出するという状況が生まれている。この状況から、企業の景気は回復基調にあるといえる。

○「変わらない」

（百貨店）…夏の儀礼ギフトやセール品は若干の減少となっている。全体的には週末の来客数が増えており、若い客を中心に帽子・サンダルなどの季節商材が活発に動き、ギフトの減少をカバーしている。

（コンビニ）…売上は2～3か月前と変わらないが、商品の値段が上がっていることが客に響いているようで、買上点数が増えていない。良い状況ではない。

（家電量販店）…テレビの大型製品が売れており、単価が上がっている。販売台数は前年比で微増である。暑さの影響で季節商材が好調となっており、単価もメーカーの値上がりの影響で微増となっている。

（住関連専門店）…客の様子や購入意欲からは、景気が良くなっているようにはみえない。

（その他専門店[ガソリンスタンド]）…新型コロナウイルス感染症の行動制限がなくなったことにより移動需要の増加を期待していたが、販売価格の上昇などにより、販売量は増えず低調である。

（その他小売[ショッピングセンター]）…7月の買上客数は前年比 109%で3か月前と変わらない。2018年同月比では90%であり、新型コロナウイルス感染症発生前の水準までは回復していない。

(旅行代理店) …国内・海外旅行の個人、団体共に大幅な受注増加には至っておらず、先行予約状況も申込みが鈍化している。トップシーズンである夏休み期間中においても間際での申込みが多い傾向にある。猛暑や物価高により、様子うかがいの客が多い。

(電気機械器具製造業) …半導体メモリ関連顧客の受注量見込みは3か月前と比べて変化がない。受注量が少ない状況が続いている。

(金融業) …消費意欲、生産意欲はコロナ禍の頃より高まっているものの、原料高や資材高に変化がないため、生産の上積みは様子見といった雰囲気がある。

(その他非製造業 [飲食料品卸売業]) …飲料は受注量、販売量共に前年を上回っているが、他の食品は前年をやや下回っている。

(職業安定所) …新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、飲食や宿泊などの業種では求人数が増えているが、物価上昇により卸売小売業の求人数が減少している。

○「やや悪くなっている」

(一般レストラン) …気温が高いせい客の出足が鈍い。ディナータイムの客は相変わらず低調である。当地には観光客は余り来ていないのではないかと。

(美容室) …猛暑のため、客の出足が悪くなっている。

(農林水産業) …前年、前々年と比べて1箱当たりの桃の取引価格が100~200円下がっている。巣籠り需要が減り、ネット販売は受注量が減っているが、観光などの需要が増えており、道の駅の客入り及び売上は良好である。

(輸送業) …4月から7月までの売上は前年比92%となっている。国内の消費動向は全体的には持ち直しているが、当社の取扱品目に限っては、そのような気配はまだない。

(新聞社[求人広告]) …新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、経済は活発化すると想定していたが、期待ほどの変化はない。むしろ、諸物価高騰の影響で減速している。特に本業である広告の落ち込みがひどい。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(百貨店) …街のイベントの再開により人流が増えており、来客数は引き続き前年を上回るとみている。

(通信会社) …夏祭りが4年ぶりに通常開催されることもあり、地域に活気が出てきている。観光客の入込数も大きく増えており、インバウンドも新型コロナウイルス感染症発生前に戻りつつある。このため、1度は解約した飲食店や個人事業者が再加入する傾向がみられる。特にモバイル系の通信端末サービスが堅調で、若年層を中心に今後も期待できる。

(食料品製造業) …今年は観光、イベント等で人流が活発化し客が増えるともみている。原材料費や固定費は高騰しているため、収益構造をどのように組み立てるかがポイントとなる。

(建設業) …受注量は相応にあるため見通しは明るい。ただし、職人の確保が課題である。

(金融業) …夏祭りの時期を迎え、県外や国外からの観光客の大幅増加が期待できる。一方で、宿泊業や飲食業での人手不足が依然解消していない点が懸念材料となっている。

(司法書士) …不動産登記の受託件数に増加がみられ、前年並みまで戻っている。

(人材派遣会社) …採用難は変わらないため、求人数は今後も増加し続ける見込みである。

○「変わらない」

(スーパー) …消費は活性化しているといわれているが、光熱費やガソリン代の高騰で食品の支出額が減少するとみている。

(コンビニ) …ウクライナ情勢は先が見えず、物価高は続くとみている。それにより、生活防衛の意識が働き、購入点数を1品減らすような消費行動も続くとみている。

(その他小売[ショッピングセンター]) …ターミナル駅に隣接しており、利用客の割合は地元客6割、旅行出張客4割である。地元客の利用が新型コロナウイルス感染症発生前まで回復していない。全国旅行支援やプレミアム付商品券等、前年の実績を大きく伸ばした国や行政による経済施策が今年はなく、景気が上向き要素がない。

(観光名所) …人出も購買意欲も新型コロナウイルス感染症発生前に戻っている。現在の来客数や販売量は変わらないとみている。

(競艇場) …今後も物価高騰や公共料金の値上げが続き金に余裕がなくなるため、ファッションやギャンブルに使う金は減っていくとみている。

(農林水産業) …新型コロナウイルス感染症が落ち着いたことにより、観光需要が高まりをみせている。しばらくは観光など外出時の支出を多くするため、買い控えが進むのではないかとみている。

(一般機械器具製造業) …新規案件の引き合い数は横ばいである。

(電気機械器具製造業) …取引先の経営状況が厳しい。

(新聞社[求人広告]) …夏祭り後の経済の動向が不透明である。

○「やや悪くなる」

(一般小売店[酒]) …10月からまたビール及びアルコール類の多くが価格改定される。酒税法改正により価格が下がるものも出てくるが、その分、小売店の混乱は避けられないとみている。ビール類の値上げ対象は業務用中心になるため、ようやく回復の兆しがみえ始めた外食産業への影響が出ることを懸念している。

(乗用車販売店) …秋口までは安定した収益確保が見込める。しかし、現在の受注量が減っているため、秋口以降の収益確保に影響が出るとみている。

(職業安定所) …企業の人手不足感が根強い一方で、求職者数は徐々に増加している。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上